

TOSHIBA

**2024年度
第3四半期決算**

2025年2月14日

株式会社 東芝

業績ハイライト

前年同期比で増収増益 営業損益は黒字転換目つ1,200億円超の大幅増益
第3四半期累計で過去最高益^{※1}を達成

(単位：億円)	FY23/1-3Q	FY24/1-3Q	FY23/1-3Q実績との比較
売上高	22,567	24,770	+2,203
営業損益(引当金等前)	551	1,304	+753
ROS	2.4%	5.3%	+2.9%pt
引当金等 ※2	▲670	▲161	+509
営業損益	▲119	1,143	+1,262
ROS	▲0.5%	4.6%	+5.1%pt
営業外損益	▲816	1,388	+2,204
うち、キオクシア ※3 持分法損益	▲1,009	954	+1,963
税引前損益	▲935	2,531	+3,466
当期純損益	▲1,070	1,848	+2,918
EBITDA ※4	750	1,925	+1,175
EBITDA margin	3.3%	7.8%	+4.5%pt
FCF ※5	204	▲113	▲317
営業CF	936	306	▲630
投資CF	▲732	▲419	+313
期中平均為替レート(米ドル)	143円	152円	+9円

注：当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づいております。

※1：2018年度にメモリ事業を除いた事業ポートフォリオとなって以降の決算において ※2：製品保証引当金等、PJ案件コスト精査等

※3：キオクシアホールディングス(株)の略 ※4：EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん減損 ※5：フリー・キャッシュ・フローは、制限付預金の影響を除いています。

2024年度 3Q決算についてのコメント

営業損益は引当前・引当後ともに全セグメントで増益を実現 経営改革効果・自助努力が着実に寄与

副社長執行役員の池谷 光司は2024年度3Q業績について以下のように述べました。

- 上期に続き、売上高は増収、引当前後の営業損益、当期純損益の**全てで黒字、且つ前年同期実績を大幅に上回る結果**となりました。
- 半導体等が市況回復の遅れにより減収となったものの、HDD他、発電システム等が好調に推移したほか、採算性を重視した改革推進による利益改善を進めたビルソリューションが改善し、**営業損益は引当前・引当後ともに全セグメントで増益を実現**しました。
- リスク管理強化に引き続き取り組んだ結果もあり、**引当金等の発生は対前同で509億円抑制**。**引当後の営業損益は赤字から黒字に転換**し、2018年度にメモリ事業を除いた事業ポートフォリオとなって以来、**3Q累計で過去最高の業績**となる1,143億円となりました。継続してきた売価施策や固定費削減等の**経営改革・自助努力を着実に成果に結びつけることができている**と考えています。
- 当期純損益については、キオクシアの業績改善による持分法損益の増益もあり、**1,848億円（前年同期比+2,918億円）と上期に続き大幅な増益**となりました。

2024年度 3Q決算の補足説明

項目	概要
売上高	<ul style="list-style-type: none">半導体等が市況回復の遅れにより減収となったものの、HDD他、発電システム、送変電・配電等、リテール & プリンティング、公共インフラ、鉄道・産業システム等の売上増により、対前同で増収
営業損益	<ul style="list-style-type: none">市況・為替影響等の外的要因のみならず、限界利益率・固定費比率の改善といった経営改革効果・自助努力が増益に寄与HDD他の製品保証引当金の減少と増収による増益、発電システム、送変電・配電等、ビルソリューション（国内エレベータ）、公共インフラなどの増益もあり、対前同で大幅増益継続的に全社でリスク再精査を実施し、一部の案件で引当金等（▲161億円[※]）を計上するも、製品保証引当金の減少等により、引当金等は対前同で509億円減と大幅改善
当期純損益	<ul style="list-style-type: none">キオクシアの業績改善による持分法損益の増益等により、対前同で大幅増益
FCF	<ul style="list-style-type: none">EBITDAおよび運転資金の改善や、キオクシア株式の売却等があったものの、税金や早期退職に係る費用等の影響により対前同で悪化
受注高/受注残	<ul style="list-style-type: none">受注高は、エネルギーシステムの大型案件受注に伴い対前同で増加、受注残もエネルギーシステムの大型案件、インフラシステムの受注規模の増加に伴い対前同で増加。 受注高及び受注残ともに、現行の開示を始めた2018年度以降、最高額を記録

※：24/1-3Qにおける計上額

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの9ヶ月累計です。

TOSHIBA